

令和5年度 自己評価・学校関係者報告書

令和6年5月31日

みゆき西こども園

1. 本年度の教育目標

【みゆき西こども園】

- (1) 豊かな人間性の基礎作りをする。
- (2) 子ども一人ひとりのありのままの姿を受け止め、乳児期に生きる力の基礎を育む。
- (3) 思いやりのある豊かな心を育てる。
- (4) 物事に敏感に反応し、節度ある態度や姿勢を育てる。
- (5) 意欲を高め自己発揮できるようにする。

2. 重点に取り組む目標・計画

- | | | |
|----------|----------|---------------|
| ○教育課程の改善 | ○教育環境の整備 | ○子どもの成長記録の可視化 |
| ○教員の資質向上 | ○安全・健康管理 | |

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取り組みの状況
教育課程の改善	B	認定子ども園教育・保育要領、教育目標、乳幼児の発達や生活の連続性を踏まえ、年間計画、週日案・個別指導計画を定期的に話し合い、計画的に日々の教育・保育活動を進めることができた。園児の実態、保護者の要望、園舎建替え工事の影響、感染症への対応等を考慮しながら園外保育や行事の見直しを行ってきた。
教育環境の整備	B	乳幼児が自発的、能動的に活動できるように環境を整え、子どもの発達に必要な体験ができるように努めている。 園舎建替にともない、仮園舎等で教育・保育を実施するにあたり、設備の配置等を工夫し、安全な保育に努めた。園舎完成後は、安全な移転作業、新園舎でのスムーズな保育開始に向けて入念な打ち合わせ、準備作業を行った。 自園方式による完全給食を実施し、給食委託業者との打ち合わせを毎月行い、給食の質の向上、食育に努めた。 育児担当制に取り組むことにより、園児一人ひとりに対する理解が深まり、きめ細かい保育を実現することができた。
教員の質的向上	A	保育教材や保育指導案について各クラス単位で話し合いを持ち、共通認識を持って、取り組みを進めることができた。 学年末には、保育教諭一人ひとりが1年を振り返り、写真やエピソードをまとめて発表する機会を持ち、その結果を共有し、次年度に生かすようにした。

安全・健康管理	A	<p>怪我や事故のないよう、施設、設備、遊具等を安全点検し、子どもたちに危険防止の言葉かけをする等の安全教育を行った。特に建替工事中は、見守りの人数を増やし、園児が安全に移動できるよう配慮した。</p> <p>怪我や事故が発生した場合は園長に報告し、看護師が視診した上で、速やかに保護者に連絡をとり、医療機関を受診する等適切な処置を行った。会議等の場でヒヤリハット事例を共有し、同じ過ちが二度と起こらないように徹底した。</p> <p>年間の災害・防火訓練実施計画をもとに様々な災害を想定した避難訓練を行っている。消防隊員から園児に対し、命を守ることの大切さや防火意識を高める指導を受けた。</p>
---------	---	---

評価（A：十分成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<p>4つの項目について重点的に取り組んだ結果、各項目の成果と課題を明らかにすることができ、総合的な全体計画を立て、教育・保育に取り組むことができた。教育環境の整備については、本年度は特に建替えに伴い年度途中で環境の変化があったが、創意工夫により、継続性のある教育・保育を行うよう努めた。研修においては、自らの保育内容をレポートにまとめ、振り返ることで保育の質の向上につなげることができ、知識・理解の共有化を図ることができた。</p>

評価（A：十分成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった）

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
教育環境の整備	<p>新園舎では、子どもたちの発達を促すことのできる、より良い環境を提供できるようにする。子どもたちが興味や関心をもって主体的に関われる環境を構成し、各クラスにおいても遊具の充実を図り、遊びコーナーを創意工夫していきたい。保育環境スケール(ECERS)の理解を深め、乳幼児一人ひとりが周囲の環境に働きかけ、興味や関心を持って関われるような環境づくりの改善に努めたい。</p>
教員の資質向上	<p>一人ひとりの発達の特性を理解し、個別の対応や集団での活動など、計画的に環境を構成し、カリキュラムを作成し、保育・教育活動をより充実させたい。小学校生活に対して期待を持つことができるよう、育てたい能力や資質としての「3つの柱」や自立心、共同性、思考力の芽生えなど「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿(10の姿)」をもとに乳幼児の保育の充実を図っていきたい。積極的に園内外の研修会、研究会等に参加し教育・保育の向上に努めていきたい。</p>

6. 学校関係者評価委員会の評価

【保護者の評価】

- ・子ども達がワクワクする環境構成が行われ、子どもが登園を楽しみにするようになった。
- ・建て替え工事が完了し、新園舎のお披露目会として見学することができて良かった。
- ・新園舎になり、駐輪スペースが広がったが、駐車スペースがあればなお良かった。
- ・イロドリク(ICT)の活用が進み、行事などの連絡を随時受け取れるようになり良かった。
- ・迎えの際に、保育の様子について先生が丁寧に説明してくれたことが良かった。
- ・子どもが発熱した時のルールについて、口頭だけではなく文面で説明を受けられ、わかりやすかった。
- ・保育の中で子ども達の良さを高める工夫がなされ、子どもの集中力が育っていると感じた。
- ・クラスに手作りとしりあしのおもちゃがバランスよく組み合わせられていて、子どもが飽きないように工夫されていた。
- ・保育に年齢ごとのねらいが明確に設定されていた。公開保育で実際に日常の保育を参観できて、子どもの様子がよくわかった。
- ・職員の交代の際に説明は受けたが、事前に知りたかった。
- ・気になることがあり、園に相談したところ、すぐに対応を検討し、保護者にも働きかけをしてもらった。
- ・保育の様子が写真で見やすく掲示されており、迎えの時に写真を見ながら子どもが園のことを楽しそうに話してくれようになった。
- ・新型コロナウイルスの5類移行を受け、園の行事が活発に行われるようになった。
- ・食育セット（レンタル）の導入の際は、事前の説明が丁寧だった。利用について家庭の状況を考慮して選択性にしたことも良かった。途中変更にも応じてくれ対応に満足できている。
- ・園で感染性の病気が流行すると、イロドリクや掲示などでタイムリーな状況を知ることができた。病気の時は看護師が丁寧に状態を知らせてくれてわかりやすかった。

【学識経験者による評価】

～子どもの最善の利益に向けた保育・教育の充実に関する取り組みの評価～

- ・地域性を理解し、子どもや家庭の課題に配慮しながら、新しい環境を活用した保育・教育を展開しようと努力している。
- ・保育者独自のアイデアを活かしながら、意欲的に保育環境を整えようとする姿勢が育っている。

財務状況

公認会計士により、適正に運営されていると認められている。